

1. 件名：福島第一原子力発電所における地すべりの可能性の検討に係る面談

2. 日時：令和5年11月9日（木）13:30～14:15

3. 場所：原子力規制庁15階審議官室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房

佐藤核物質・放射線総括審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永室長、正岡企画調査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

飯塚廃炉担当、他6名（うち2名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、本年6月19日に開催した第11回特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）の議論を踏まえ、10月17日の面談資料に基づき、周辺斜面による耐震重要施設等への波及的影響について説明があった。

○原子力規制庁から、主に以下のコメントを伝えた。

- 崩壊土砂による建屋への衝撃力に関する算出式の適用性及び斜面对策工事を実施した場合の廃炉工程への影響について整理すること
- 上記の整理結果は今後の技術会合において議論すること

○東京電力より、了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所における地すべりの可能性について コメント回答 耐震重要施設の周辺斜面による波及的影響について
(10月17日面談資料: <https://www2.nra.go.jp/data/000456340.pdf>)

以上